

起因物、事故の型：作業床、歩み板 - 激突の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	9~10	施設内利用者居室にて、おむつ交換のため利用者の体位交換をした際、右足を床についた瞬間に足に激痛がはしり、歩行困難となる。	60	130201	10~29
1	15~16	洗い場作業を行っていたが、排水枘のフタが開いていて、落ちてしまった。今後、フタが落ち易い状態となっていたため修理し、危険箇所を放置しないようにする。	30	140201	10~29
1	14~15	モータープールにおいて、大型トラックの荷台の上にて荷降ろし中、荷台から降りた際、着地した左足を挫いた。	30	30199	—
1	11~12	定期点検の為、床下点検中に塩ビ管を乗り越えようとした時に手足が滑り、塩ビ管で胸を打った。	34	150109	1~9
1	15~16	工場に於いて、製作中の円筒タンク（直径34M×長さ11M）を横に寝かした状態にして次の作業に着手する前に、本人が上部中程のケガキ線をチェックする為テーブルリフターを使用して上部に登り、そこを歩いたときに足を滑らせ、そのまま飛び降りる状態で足から落下し、両足のかかとを骨折した。	56	11209	30~49
2	10~11	パネル型枠の清掃作業中に、1m程に積み上げたパネルの上で作業し、大した高さではないと判断し、飛び降りた際、着地した時に右足首をひねって捻挫をしてしまった。	30	30209	10~29
2	8~9	スクラバーメンテナンスのため、スクラバー脇に脚立を設置し、内部の確認作業を行った後、脚立から地面に降りずスクラバー防液堤に足を掛けた。防液堤に乗ったつもりが踏み外し、つま先が上になった状態でスクラバー本体と防液堤の間に挟まり右足首を防液堤に打ちつけてしまっ	50	11101	100~299

		た。			
2	15~16	倉庫内の清掃中、箱内の清掃を終えて、箱より飛び降りた時に、左足首に激痛を感じた。	54	11209	1~9
2	14~15	Eヤードにおいて、陸送車よりNo.3番の商品車を下ろす作業中、一旦下に降りようとした際、陸送車の足置場から足を滑らし、不安定な姿勢で地面に着地した時、右足アキレス腱を断裂負傷したものである。	31	40301	10~ 29
2	11~12	被災者（職長）は同僚他2名で伐採作業を行っていた。梯子上でチェーンソーを使い枝払いをしようとした。切ろうとした枝を道路側に落ちない様、他2名がロープで引っ張っていた為切断途中で幹が揺れて梯子上（高さ2.5m）から飛び降り被災した。	35	30203	1~9
2	11~12	研修室で、会議が終わり会議内容について立って打ち合わせを行っていた。話が長くなって背面の会議中に座っていた椅子の背もたれに手を置き、座面に膝を下ろそうとしたが、あると思っていた椅子が無く、思わぬ状態に受け身も取れず、全体重が膝にかかり床に膝を強打してしまった。	62	11301	100 ~ 299
2	21~22	店内にて、パチンコ台のカウンターの上に上がり、パチンコ玉を循環させる還元機のベルトを調整し、作業が終わったので（高さ約60cmから）降りたところバランスを崩して右足の親指をつき骨折した。	39	140309	10~ 29
2	17~18	被災者は自社所有のトラック積載型クレーン車を一人で運転しパイプを客先に納品した。指定された資材置き場にてクレーンを使用して積み下ろし作業及び玉外し作業を終了後、製品置き場の棚（高さ約1m程度）から降りる際に身体のバランスを崩し左足から着地してしまった。	55	80109	10~ 29
3	8~9	自社資材置場にて車庫増築作業のため、足場を組み立て作業中、1段目を組み立て後、1段の布板（天板）に上がり、資材の引き上げ中に、バランスを崩したため約1.8mの高さから飛び降りたとき、両足の踵を負傷した。	79	30203	1~9
3	14~15	工場敷地内で作業中、泥で足を滑らせ地面においてあるU字溝に足がぶつ	32	10401	10~

		かり、右足親指骨折した。			29
3	21~22	乗務を終了し、トラックにて当社駐車場に帰庫した。荷室内を整理した後、当該トラックのテールゲートリフター天板上から地上に飛び降りた際、踵を強打した。	55	40301	30~ 49
3	4~5	就業メンテナンスの為、ブース内に行こうと前者に続き通行した時、ロストルが何らかの理由で外れ、ロストルの角がすねに当たり負傷した。	33	11502	1000 ~ 9999
4	15~ 16	清算後、お客様の買物カゴを商品を詰める台に運ぼうとした際、つまずき右額部分を強打した。	68	80209	50~ 99
4	18~ 19	資材館台車売場に於いて、上置き台（高さ90cm）に昇り展示用のリヤカーを設置した後、上置き台より飛び降り着地した時に体のバランスを崩して転倒し、咄嗟に左手を床に着き、左手首を骨折した。	54	80209	50~ 99
4	19~ 20	翌日配送の荷物を積み終え、運転席に戻ろうとトラック接車バースより地面に飛び降りた際、落ちていた木片に右足が乗り、バランスを崩し足を捻った。	52	50101	10~ 29
4	16~ 17	倉庫にてアパート改修工事の準備作業中、高さ約90cmの所から降りた時に足元の段差につまずき、左足に怪我をした。	22	30202	1~9
4	13~ 14	第3工場成形工程において成形後の製品（クロスウェーブ）のバリ取り、検査後に積み重ね作業の実施中、高い位置の積み重ねがズレ、その修正をする為に裏側に回り高い位置のズレをジャンプして直そうとし、着地時に右膝を痛めた。高い位置への積み重ねの為に4段の階段式作業台は常備してあるが、作業者の方は利用せず作業を行ってしまった。	51	10805	50~ 99
4	13~ 14	第三工場成形工程内で、成形後のクロスウェーブ（樹脂製で約7kg）をバリ取り→検査→積み重ねる（縦25コ×2段）作業中、高い位置の積み重ねがズレた。ズレを修正をするため、裏（通常作業と反対側）へ回り、高い位置だったため、ジャンプして修正を実施した。着地した際に右膝からバキッという音がして痛みが増していった。高い位置での作業及び身	51	170101	50~ 99

		長が低い者のために作業台（高さ約30cm）を工程内に常備してあるが、被災者は使用していなかった。			
4	14～ 15	スタッフ事務所にあるソファで利用者様のナースコールが鳴るのを待っていた時、疲れていたので仰向けになり待機していた。ナースコールが鳴ったため、転倒リスクの高い利用者様からのコールもあり慌てて訪室しようとしたところ、狭いガードもないソファから側臥位になろうとして転落し仙骨を強打した。そのあと血圧が下がり、痛みと、意識もクリアでなく椅子まで這ってたどりつき、異常な口渴感のため、水分補給しても動くことができなかった。	48	170101	100 ～ 299
4	9～ 10	海上養殖いかだにて、魚の出荷のため船からいかだの中に網を下ろす際、いかだに足をかけたところ足が滑ってバランスを崩し、左わき腹がいかだの突起棒に強く当たった。	31	90209	1～9
5	17～ 18	デリカ部作業場にてコロッケを揚げている時に、離れた場所からフライヤーに小走りで近付いた時、床にこぼれていた少量の油で足を滑らせて、フライヤーの縁で右脇腹を打ってしまった。	67	80209	100 ～ 299
5	10～ 11	お客様の料理を作る為、ホテル内1階厨房に入ったところ、入り口が水で濡れていたため滑って、テーブルに胸と手を強打し、その拍子に腰から転倒した。	56	140101	10～ 29
6	11～ 12	野菜ペーストを製造中、足が滑り、膝を機器の角にぶつけ、さらに床にぶつけた。床面の劣化が確認された為、防滑加工をした。靴の交換ルールが決まっていなかったため、ルールとチェック方法を決めた。	56	10109	100 ～ 299
6	15～ 16	配送先の配達を終えて車に戻る際、納品ホーム（約75cm）から飛び降り、着地を失敗して足首を捻ったものである。	41	40301	100 ～ 299
6	18～ 19	保育園の行事準備の為、舞台上の物をホールに移動している時、鉄棒を二人で運搬中に舞台（高さ90cm）から降りた際、バランスを崩し右足首を捻って負傷した。	21	130201	30～ 49

6	11~ 12	取引先にて医療ケースの積み込みをしてもらってる際、荷台にいた被災者が、作業が終わった後に荷台の上から約1.3m下に飛び降り、足首を捻ってしまった。	49	40301	30~ 49
6	13~ 14	積込先に集荷に向かう途中のコンビニ駐車場で、自分のトラック荷台の備品整理を行い、荷台より降りる時に、右足が備品の角に引っかかり、咄嗟に飛び降りた時に左足を損傷したものである。そのまま仕事をし、しばらくしても痛みが引かない為、病院で診察を受けたところ、骨折と診断されたものである。	65	40301	30~ 49
6	11~ 12	倉庫の整備中、台の上で作業をしていて、滑って台の角に胸を打ち、骨が折れた。	63	30106	1~9
6	9~ 10	機材置き場において、鉄筋2束（長さ4m、重さ2t）をクレーンを使用し、トラックの荷台に乗って荷降ろし作業中、鉄筋を持ち上げた際、吊ワイヤーがフロントアタッチメントに引っ掛かったため一度下げたところ、積んである鉄筋と下げた鉄筋とで足が挟まりそうになったため、トラックの荷台（高さ2m）から飛び降りて転倒した。その際に、右足と腰を負傷した。	61	11209	10~ 29
7	14~15	一般浴室更衣内で入浴用チェアから車椅子に利用者様を抱えて移乗する際、足を滑らせ左側にあった棚に左肩甲骨をぶつけ利用者様下敷きになり転倒してしまった。左肩甲骨周辺に痛みがひどく歩く事が困難であった。	36	130201	100 ~ 299
7	5~6	男性寝室で起床時に起床装置を止めようとベッドから起き上がり、ドア付近の足元床面に設置されている自動起床装置を止める際バランスを崩しドアのストッパーに右足をぶつけ受傷した。	44	40101	50~ 99
7	15~16	当社の出勤日に社内行事の目的としたソフトバレーボール大会を体育館にて開催した。試合中、相手チームからの低いボールを受け取ろうとして、横にジャンプし、着地時に失敗し、左足首を負傷した。	42	170209	100 ~ 299
7	15~16	農場内GP製品庫で製品の入った台車（約150kg）を押していた際、床面が劣化してくぼみがあるところに台車の前コマが挟まり、台車が倒れ	26	70101	50~

		た。その際、後コマ下部のフレームで右足首を打撲した。			99
7	14～ 15	当社育成鶏舎2階において、鶏舎内のホコリ落とし作業中、中間ステップの最後尾付近で壁部分の鉄骨と中間ステップの間の一部に隙間（約20cm）があるのに気付かず右足を大腿部まで落とし大腿部を強打し負傷した。	56	70101	10～ 29
7	22～ 23	テニスのレッスン中に生徒とゲームをしていて、ジャンプして着地したあと、右足ふくらはぎに痛みを感じた。	43	120109	30～ 49
7	10～ 11	穴あけ機械の作業台で、完成品をパレットへ移動させている作業中に、地場への足の置き方が良くなかったため、右足中指を骨折した。	38	170101	30～ 49
7	18～ 19	営業所の材料置場において、棚上段の材料を脚立を使って取り、自身が降りる際に足を踏み外して転倒し、左足首を捻挫した。	36	170209	10～ 29
7	14～ 15	施設敷地内で準備作業中、投光器の設置場所確認のため、電柱に登った。設置場所を確認して下りようとしたが、直下にポールがあったため、1m40cm程の高さから後方に飛ぶようにして下り、着地の際に右足踵に痛みが発生した。	29	130201	50～ 99
7	8～9	1階ステージより4tダンプ（深ボディ）にコンクリートガラの積込み作業中、車輛の荷台縁に積込み用のコンテナをのせる際、別のコンテナを踏み台にしていたためバランスを崩し、コンテナが車輛とステージ手摺との間に落下した。その際、落下するコンテナを手放せず一緒に転倒したため、ダンプのボディに頭部を強打し、瞼の上を裂傷した。	62	30201	50～ 99
9	12～ 13	本社工場入口手前のエアシャワー室にて、エアシャワー中に足を滑らせバランスを崩し、進行方向のドアと右手側の壁の間に右手をついた際、右手小指を負傷した。	55	10109	50～ 99
10	9～ 10	取引先の敷地内にて、荷物の積降ろし作業中、地面にレバーブロックをおいていた事を忘れ、トラックの荷台より飛び降り、レバーブロックの上に着地した。その際、両足がハの字となり着地したため、負傷した。痛みはあったが、そのうち治まるだろうと、仕事を続けていたが、痛み	30	40301	10～ 29

		が引かなかった。			
10	13～ 14	資材置場内において、資材の整理整頓をするため資材を場所移動する際、トラックへ資材を積み終えた。高所作業台からトラックのキャビンへ飛び移ろうとした時、バランスを崩し転落した。その時に右足踵を負傷した。	24	40301	1～9
11	9～ 10	派遣先において、10tトラックの荷台に積まれたゴミの確認を行う為、トラックの梯子を登っている時、次の段へ上がろうと右足を浮かせたところ、左足が滑り転落（高さ約2m）した際、左踵、右足及び左尾てい骨を負傷した。	50	10805	100 ～ 299
11	11～ 12	当社ダンプカー（10730kg）で、工場からコンクリート工場に砂利を運んでいたところ、駐車場でダンプのボディストッパーを外していたところサイドブレーキをしっかりと掛けなかったため、ダンプが動き出し、サイドブレーキを引き直そうと運転席に乗ろうとしたところ地面がぬかるんでいたため、足が滑って転倒したところに、ダンプの前後輪のタイヤにのぼられ、両足を負傷したものである。	69	170101	10～ 29
11	17～ 18	本社第一工場にてバックホー（重機）より降車する際に、キャタピラに足を置いた後、ステップの間に荷物があったため、ステップを使わず地面に飛び降りたところ、段差があり足を捻って負傷したものである。	36	150102	50～ 99
11	17～ 18	組立治具上で鉄筋カゴの上部を製作上部の組立完了後、組立治具（高さ約70cm）から降りる際、飛び降りてしまい着地時に治具鉄筋に右手中指をぶつけてしまった。	20	11209	1～9
11	17～ 18	コンクリート材料の貯蔵タンク増設場所で、架台基礎のコンクリートの型枠を脱型作業中に足場、手摺りのない不安全な状態の中で高さ1m93cm、幅20cmのコンクリート上部に立って脱型したベニヤ材料の受け渡し中に足元のバランスを崩し、真下への転落を瞬間的に避けようとの思いから、体勢を反転させて地上部（高低差1m25cm）へ自ら飛び降りた、その際、左足かかとを強打し負傷した。原因は安全を確保するための措置を講じていなかったことによるもので、深く反省している。	52	10901	1～9

12	10~11	構内にて、トラックの運転台を確認し、後ろ向きでステップに足を掛けており、左足が地面に着いた時、腰の部分に痛みが走った。ギックリ腰を起こしたと思い静かに事務所まで始動し、1時間位休んだが痛みが治まらない為、受診したところ負傷していた。	56	40301	30~ 49
12	11~12	派遣先、第一製造グループ内梱包作業場にて冷凍食品の梱包作業中、梱包中の加熱用カゴが重なった状態で何ヶ所かに点在し、場所にゆとりがなく床に氷の破片も散らばっていて滑りやすい状態だった。作業終了間近で気持ちが悪くしていた為、振り向きざまに足を滑らせ体勢を崩した所、加熱用カゴの角部分に脇腹付近をぶつけた。	49	10101	50~ 99
12	19~20	作業中に移動する際、階段を使用せずプラットホームより飛びおりた所、着地時に体勢を崩し転んで左ひじを損傷した。しばらく自宅で療養したが痛みが引かなかったため、後日受診し、左ひじ打撲と診断された。	36	170101	50~ 99
12	14~15	2段積みのフレコンパックを荷卸し中、上段のフレコンをリフトで荷卸した後、上段部と下段部の間に敷いてあったコンパネ（ベニヤ板）をどけようとしたところ、強風が吹き、風にあおられてトラック荷台より地面へ飛んだところ、右足踵より着地し、骨折した。	68	40301	30~ 49
12	0~1	客宅で車庫入れの誘導中、タイヤ止めのブロックがあることに気づいてはいたが、暗いこともあり配置までは分からず、ブロックに躓いて、壁にぶつかり転倒した。	63	40201	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html